



## &lt;来週の資金需給予想とイベント予定&gt;

(単位: 億円)

日付	資金需給予想			主要要因	オペ期日	オペスタート	イベント
	銀行券要因	財政等要因	資金過不足				
9/9 (月)	+ 600	+ 8,600	+ 9,200	国庫短期証券発行償還 (3M)	CP等買入 ▲ 100 社債等買入 ▲ 300 国債補充供給 + 14,700		日: GDP(4-6月改定) 日: 貿易収支 (7月)
9/10 (火)	+ 1,000	+ 8,000	+ 9,000	国庫短期証券発行償還 (6M) 国債償還 (物運10年)			
9/11 (水)	トン	▲ 26,000	▲ 26,000	国債発行 (5年)			日: 中川順子日銀審議委員、金融経済懇談会 (秋田市) に出席 米: CPI (8月)
9/12 (木)	トン	▲ 6,000	▲ 6,000	源泉税揚げ			日: 田村直樹日銀審議委員、金融経済懇談会 (岡山市) に出席 米: 新規失業保険申請件数 (9月7日終了週) 米: PPI (8月)
9/13 (金)	トン	▲ 4,000	▲ 4,000	国債発行 (20年)	貸出増加 ▲ 132,300		日: 鉱工業生産 (7月) 欧: 1-0圏 鉱工業生産 (7月)

## &lt;インターバンク&gt;

日銀当座預金残高は週初、前営業日対比2兆2,500億円減少の548兆1,900億円から始まった。その後、税揚げや国債発行等の要因により減少し、6日は542兆6,300億円 (速報) で越えた。

無担保コールON物加重平均金利は週初、0.227%から始まった。その後もビットサイドの調達意欲は底堅く、同金利は横ばいで推移した。

ターム物は1W~3M物が主に0.227%~0.350%のレンジで出が見られた。

来週の予定は、国内では、9月9日にGDP (4-6月改定) の公表、13日に鉱工業生産 (7月) の公表などがある。海外では11日に米CPI (8月)、12日に新規失業保険申請件数 (9月7日終了週) の公表などがある。

## [無担保コールレート]

	予想レンジ (%)
O/N	0.22 ~ 0.228
1M	0.30 ~ 0.45
2M	0.30 ~ 0.45
3M	0.30 ~ 0.45
6M	0.45 ~ 0.65

## &lt;レポ&gt;

足許GC取引は週を通して+0.23%~+0.26%のレンジで出合いが見られた。短国の発行があった週末も水準に変化は見られなかった。

SC取引は2年450~464回債、5年149~171回債、10年350~375回債、20年180~189回債、30年65~83回債、40年13~17回債などに引合いが多く見られた。

## [オープン市場]

	予想レンジ (%)
現先 (on/1w)	0.12 ~ 0.20
CP 3M	0.30 ~ 0.50

## &lt;CP&gt;

今週の入札発行総額は約6,500億円で、週間償還額の8,200億円を下回った。発行残高は先週末時点の24兆7,002億円から、9月5日時点で24兆9,514億円に増加した。発行市場は鉄鋼、電気機器、卸売業、サービス業などで大型の発行案件が見られた。入札案件の発行レートは銘柄や期間等によりばらつきが見られ、1M物から3M物で、0.25%から0.30%前半までの出合いとなった。特に1M物の内、発行量の少ない銘柄については、政策金利の0.25%に限りなく近い値で推移しており、投資家が発行水準を探り合う地合いが続いている。

来週の償還額は、約1兆6,000億円となっている。発行市場は、一部の企業で中間期末の有利子負債圧縮を踏まえた発行抑制が想定されるものの、足許の発行水準が落ち着きを見せている背景から、相応の発行が見込まれる。発行レートは、期内物では0.25%近辺での出合い、3M超の案件については0.30%前半~0.30%後半での出合いが散見されるであろう。

## &lt;TDB&gt;

6日の3M (1254回債) の入札は、最高落札利回り0.0822% (前回債0.1023%)、平均落札利回り0.0778% (前回債0.0946%) となった。

来週の入札は、9日に6M、13日に3Mが予定されている。

本資料は投資環境等に関する情報提供を目的として作成したものです。本資料は投資勧誘を目的とするものではありません。有価証券等の取引には、リスクが伴います。投資についての最終決定は、投資家ご自身の判断と責任においてなされるようお願いいたします。当社は、いかなる投資の妥当性についても保証するものではありません。記載された意見や予測等は作成時点のものであり、正確性、完全性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることがあります。